

平成二十二年七月三十日提出
質 問 第 八 号

我が国の社会資本ストックの計画的な更新に関する質問主意書

提出者 橘 慶一郎

我が国の社会資本ストックの計画的な更新に関する質問主意書

我が国においては、従前から社会資本の整備が着実に進められ、国民の生活と経済活動を支える重要な基盤としての成熟度が増している。今後も、各分野で新たに整備が求められる基盤が残されている一方で、これまで蓄積されてきた社会資本のストックを維持し、計画的に更新していく取り組みの重要性が高まってきていると思われる。「新成長戦略」（平成二十二年六月十八日閣議決定）においても、社会資本ストックの戦略的維持管理を推進することとされたところだが、菅内閣の現状の認識及び今後の取り組みについて、以下三項目にわたり質問する。

一 橋梁、トンネル、堤防、防波堤など、大型構造物について、社会資本のストックの現状を国としてどのように把握され、又、把握しようと考えているのか、うかがう。

二 国の実施する公共事業に占める社会資本ストックの維持・更新に必要な費用の割合について、現状及び今後の見通しをうかがう。

三 社会資本ストックの計画的な更新の重要性及びその方策についての内閣の所見をうかがう。
右質問する。